

資料提供	令和2年1月10日	担当：並川・柿木
健康推進課	073-441-2657	

インフルエンザの発生が注意報基準値を超えました！

県内においてインフルエンザ定点（県内 49 医療機関）からの患者報告数*が第 52 週（令和元年 12 月 23 日から令和元年 12 月 29 日）に **11.02** 人となり、注意報基準値を超えました。

全国のインフルエンザの定点当たり報告数も第 50 週（令和元年 12 月 9 日から令和元年 12 月 15 日まで）に、注意報基準値である 10 人を超える **15.62** 人となっています。

いよいよ流行の拡大が本格化しつつあると言えます。県民の皆様には、インフルエンザに対する正しい知識に基づき、予防と感染拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。

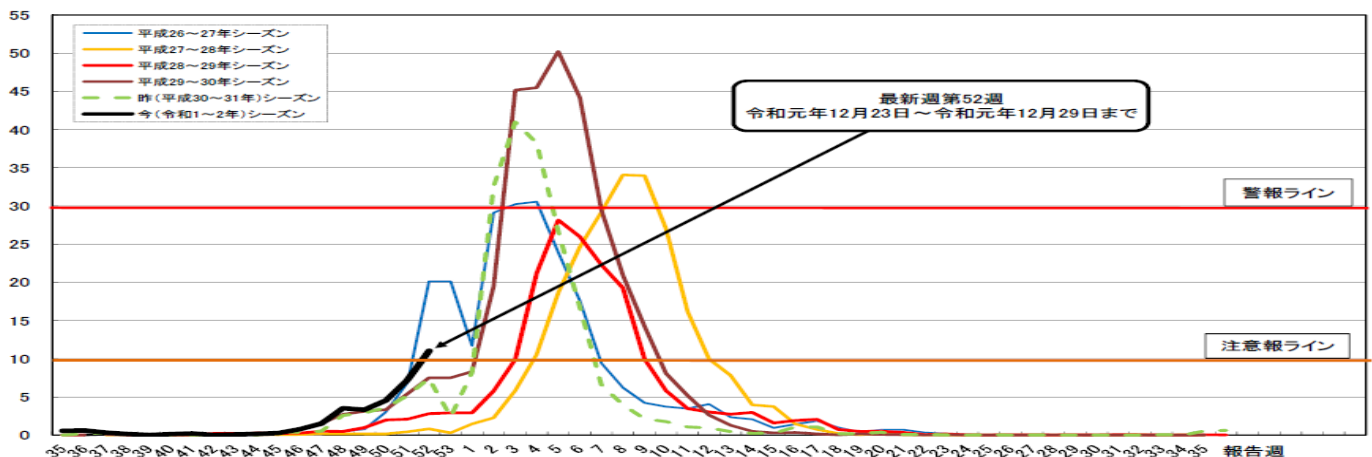
【 流行の状況 】

○ 各保健所管内の最新データ（第 52 週：令和元年 12 月 23 日から令和元年 12 月 29 日まで）

	県全体	保健所名								
		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
定点当たり報告数	11.02	15.20	3.00	14.33	16.50	3.50	4.00	10.86	5.33	0.00

○ 過去のシーズンとの比較（点線で示されたグラフは、昨シーズン（平成 30 年から平成 31 年）を示しています。）

定点当たり報告数 本県のインフルエンザ定点当たり報告数の推移（県内49定点医療機関集計分）



○ 全国と本県（各保健所ごと）のインフルエンザの定点当たり報告数の推移

本県の保健所管内のインフルエンザ定点当たり報告数推移(定点数合計=49)

区分	定点数	第40週	第41週	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週
		9/30-10/6	10/7-10/13	10/14-10/20	10/21-10/27	10/28-11/3	11/4-11/10	11/11-11/17	11/18-11/24	11/25-12/1	12/2-12/8	12/9-12/15	12/16-12/22	12/23-12/29
全国	約5,000	0.99	0.90	0.72	0.80	0.95	1.03	1.84	3.11	5.52	9.52	15.62	21.22	23.24
和歌山県	49	0.12	0.22	0.02	0.08	0.14	0.27	0.76	1.51	3.51	3.31	4.53	7.22	11.02
和歌山市保健所	15	0.00	0.27	0.00	0.07	0.13	0.47	1.80	4.07	7.40	6.00	7.87	11.47	15.20
海南保健所	3	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.33	0.33	0.33	2.33	6.33	2.33	6.00	3.00
岩出保健所	6	0.17	0.17	0.00	0.00	0.67	0.17	0.83	1.17	4.33	3.33	8.00	11.83	14.33
橋本保健所	6	0.00	0.17	0.00	0.33	0.17	0.33	0.17	0.33	2.83	2.50	4.67	8.33	16.50
湯浅保健所	4	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.50	0.75	1.00	2.75	3.50	3.50
御坊保健所	3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	1.67	2.00	0.33	3.33	4.00
田辺保健所	7	0.71	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.29	1.14	1.57	10.86
新宮保健所	3	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.33	0.67	2.00	0.00	1.33	5.33
串本支所	2	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00	0.00

※ 1 医療機関当たりの平均患者報告数。注意報基準値 = 10 人 警報基準値 = 30 人

【 正しい知識を身につけましょう 】

全ての年齢の方、特に乳幼児、高齢者及び基礎疾患のある方は注意が必要です。
以下を参考に、インフルエンザへの予防対策に努めていただきますようお願いいたします。

● 受診の際の注意

発熱や咳等、インフルエンザ様の症状のある方は、早めに医療機関を受診してください。特に、乳幼児、高齢者、基礎疾患のある方は重症化のおそれもありますので、感染した場合の対応についてあらかじめ、かかりつけ医に相談しておきましょう。

● インフルエンザ予防で注意すべきこと

- 予防接種を受ける。(効果が現れるまで2週間ほどかかります。)
- こまめに手洗いを励行しましょう。
外出時、外出後のこまめな手洗いを日常的に行うことが予防策として重要です。
また、手を洗った後は清潔なタオルやペーパータオルなどで十分に拭き取りましょう。
- 適切な湿度を保ちましょう。
特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50%～60%）を保ちましょう。
- 健康管理に努めましょう。
バランスのとれた栄養摂取、十分な睡眠をとることを心がけるなど、健康管理に努めましょう。
- 咳エチケットを励行しましょう。

【咳エチケットとは】

1 マスクを着用してください。

咳、くしゃみがでている間はマスクを着用し、使用後のマスクは放置せずにごみ箱に捨てましょう。

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

2 周囲の人からなるべく離れてください。

咳やくしゃみのしぶき（飛沫）は、約2メートル飛ぶと言われています。

3 咳やくしゃみをするときは、他の人から顔をそらせティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。

他の人にしぶき（飛沫）をかけないように心がけましょう。マスクをしていない場合には、ティッシュなどで口と鼻を覆うことも大切です。使ったティッシュはすぐにゴミ箱へ捨てましょう。

4 咳やくしゃみを抑えた手を洗いましょう。

手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を石けんで丁寧に洗いましょう。